



内閣府（防災担当）

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第12回） 議事概要について

1. 検討会の概要

日 時：平成30年8月17日（金） 15:00～17:00

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：佐竹座長、入倉委員、岡村委員、谷岡委員、平川委員、平田委員、古村委員、
翠川委員、三宅委員

2. 議事概要

事務局から検討状況の説明を行い、千島海溝から日本海溝の岩手県沖までの領域で発生する最大クラスの津波の設定について審議を行った。概要は、次のとおり。

- 1640年の駒ヶ岳噴火による津波堆積物（その可能性があるものを含む）については、最大クラスの津波の再現を検討する際に用いない。
- 千島海溝の断層モデルについて、超大すべり域のすべり量を千島海溝全体で同じ値にするのではなく、津波堆積物を適切に再現できるよう、区域を分割してすべり量を設定する。
- 津波堆積物から判明している浸水範囲を十分に再現できていない地点については、地形的な特徴を点検しておくことが重要。
- 津波堆積物がない地域についても、東北地方太平洋沖地震等の過去の津波で周囲と異なる浸水をしている地域については、地形的な特徴の点検や過去の津波との比較を行うことが重要。
- 今回検討した領域は津波堆積物のデータがある程度そろっているため、津波堆積物の再現を主体としてモデルを検討する。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 高橋 伸輔

同参事官補佐 岩村 公太

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820